

看護学部／看護学科・看護師コース	職名	教授	氏名	福田和美
------------------	----	----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として集中治療室、外科病棟、呼吸器内科病棟での臨床経験のあと、佐賀大学大学院医学研究科看護学専攻（看護学修士）に進学し、手術を受けた乳がん患者の看護を行う看護師の共感に関する研究を行った。その後大学教員になり、九州大学大学院医学系学府保健学専攻に進学し、術後せん妄患者の家族への看護に関する研究を行い、博士課程を修了した（看護学博士）。現在は、術後せん妄の予防的ケアも含めたうえでの患者や家族の看護に関する研究を継続して行っている。また、成人看護学におけるシミュレーション教育に関する研究も行っている。

2. 研究業績

① 最近の著書・論文

- ・ 福田和美、中尾久子：術後せん妄リスクの高い高齢者の家族と看護に関する文献検討，福岡県立大学看護学研究紀要，第22巻，p25-33.
- ・ 村田和子、福田和美：成人看護学演習におけるOSCEの現状と課題，福岡県立大学看護学研究紀要，第21巻，p17-25, 2024.
- ・ 高木美歩、福田和美：精神科訪問看護利用者が希望を語ることにつながった看護師の関り，日本地域看護学会誌，26巻1号，p84-91,2023.
- ・ 福田和美、中尾久子、村田和子：術後早期の看護ケアを行う看護師による家族に対する情報共有に関連したケア，The Journal of Nursing Investigation，第20巻1号，p33-43, 2022.

② その他最近の業績

<学会発表>

- ・ Kazumi Fukuda, Kazuko Murata, Hisako Nakao: Actual conditions of patient family participation in postoperative delirium care before and after COVID-19. 15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2025.
- ・ Kazuko Murata, Kazumi Fukuda, Hisako Nakao: Awareness of nurses on patient family participation in postoperative delirium care. 15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2025.
- ・ Keiko Yamaguchi, Kazumi Fukuda: Comparison of the motivations to learn by nursing students using different learning methods in the observation of postoperative patients. 15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2025.
- ・ 山口馨子，福田和美：看護場面における眼球運動計測機器を用いた観察に関する文献検討．第48回日本看護研究学会学術集会（愛媛：オンライン），2022.

③ 過去の主要業績

- ・ 福田和美，中尾久子：術後せん妄を発症した高齢患者の家族の体験，The Journal of Nursing Investigation,第13巻1,2号，p20-27,2015.
- ・ 渡邊美保，福田和美：がん患者を対象とした全人的苦痛に対するタクティールケアの効果，日本看護医療学会雑誌，第16巻2号，p40-48, 2014.
- ・ Kazumi Fukuda, Hisako Nkao : Effects of post-operative delirium of patients on family members

and their response, The Journal of Nursing Investigation, 第 11 卷 (1, 2 号), p 1-13, 2013.

3. 外部研究資金

- ・ 科学研究費助成事業 (基金分) 基盤研究 (C) 令和 2 年～6 年, 交付金額 3,120 千円, 研究課題: 情報提供を基盤とした術後せん妄に対する看護師と家族の協働的ケアプログラムの開発 (研究代表者)
- ・ 科学研究費助成事業 (基金分) 基盤研究 (C) 令和 6 年～9 年, 交付金額 3,250 千円, 研究課題: 虐待防止を目指し介護職員の心理的安全性を高めるプログラムの構築 (研究分担者)

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本クリティカルケア学会、日本がん看護学会、日本看護医療学会、日本老年看護学会、Sigma Theta Tau International、日本地域看護学会

6. 担当授業科目

<学部>

人間のライフステージと看護・1 単位・1 年・後期、健康レベルと看護・1 単位・1 年・後期、看護倫理学・1 単位・2 年・前期、成人老年看護学Ⅰ (急性期)・2 単位・2 年・後期、成人老年看護学Ⅱ (慢性期)、成人老年看護学Ⅲ (終末期)・2 単位・2 年・後期、セルフケア支援演習・1 単位・3 年・前期、クリティカルケア・周術期看護演習・1 単位・3 年・前期、成人老年急性期看護学実習・3 単位・3 年後期、成人老年慢性期看護学実習・3 単位・3 年後期、専門看護学ゼミ・2 単位・3 年・通年、看護研究・2 単位・2 年後期、卒業研究・2 単位・4 年生・通年

<大学院>

成人看護学特論・2 単位・1 年前期、成人看護学演習・2 単位・1 年後期、看護研究法・2 単位・1 年前期、ウイメンズヘルズ特論・1 単位・1 年前期、ウイメンズヘルズ演習・1 単位・1 年後期、臨床看護学特別研究・1～2 年・8 単位・通年、課題研究・1～2 年・4 単位・通年

7. 社会貢献活動

- ・ 福岡県看護協会 看護研究倫理審査委員会 委員長
- ・ 日本看護協会 第 55 回日本看護学会学術集会 抄録選考委員
- ・ 済生会福岡総合病院 特定行為研修管理委員会 外部委員

8. 学外講義・講演

- ・ 飯塚市立病院 看護過程研修会 講師
- ・ 飯塚市立病院 接遇研修会 講師

9. 附属研究所の活動等